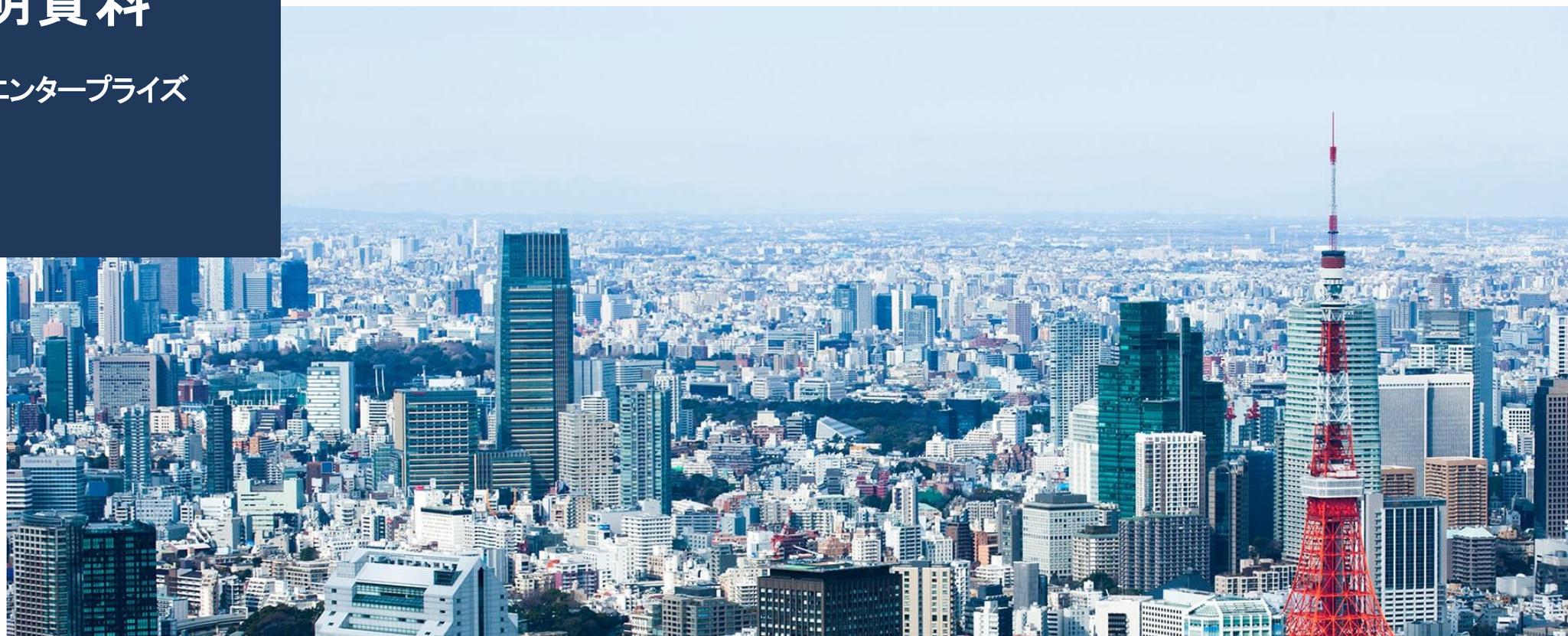


2026年7月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社明豊エンタープライズ

8927

2026年3月



1. 2026年7月期第2四半期 決算概要
2. 2026年7月期第2四半期 セグメント別決算概要
3. 今後の見通し
4. 重要トピックス
5. 株主還元
6. Appendix

1. 2026年7月期第2四半期 決算概要
2. 2026年7月期第2四半期 セグメント別決算概要
3. 今後の見通し
4. 重要トピックス
5. 株主還元
6. Appendix

売上高

14,861百万円
(2Q業績予想比92.3%)

営業利益

1,440百万円
(2Q業績予想比102.9%)

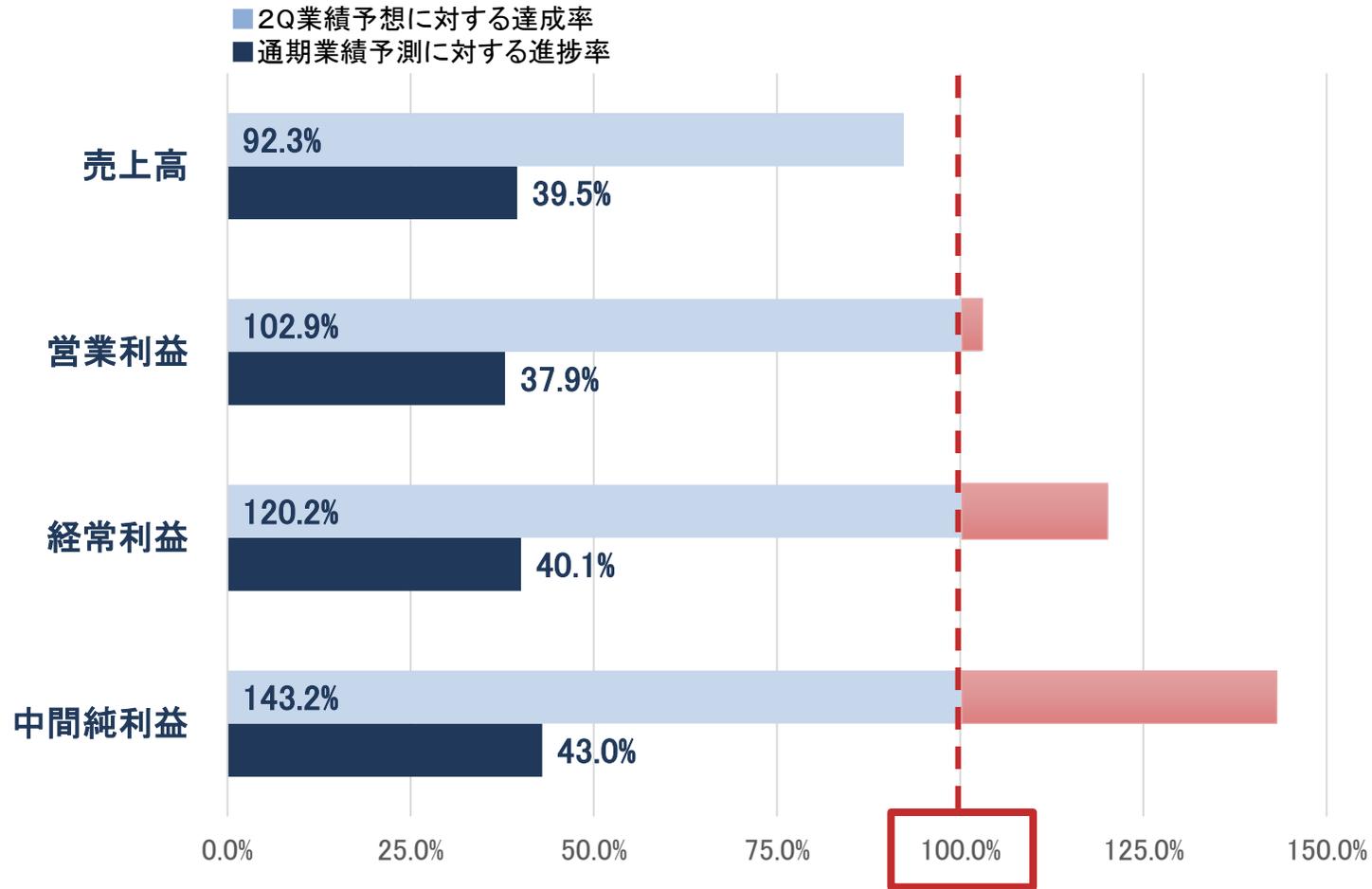
経常利益

1,202百万円
(2Q業績予想比120.2%)

- 『EL FARO(エルファーロ)』『MIJAS(ミハス)』 売却棟数16棟(前年15棟)
通期計画37棟前後に対し、売却契約締結済みを含めて30棟が売却見込(進捗率約81%)
- サブリース物件の増加等により、賃貸事業のセグメント利益は前年同期比約8倍に
- 安定的な工事受注、竣工実績により建設事業のセグメント利益は前年同期比+91百万円へ拡大
- 通期予想については概ね計画通り進捗しており変更なし

「エルファード」「ミハス」シリーズの販売実績が前年同期の15棟を上回る16棟となった。
各段階利益は中間業績予想を上回り、通期業績予想の達成に向けて順調に進捗。

(単位: 百万円)



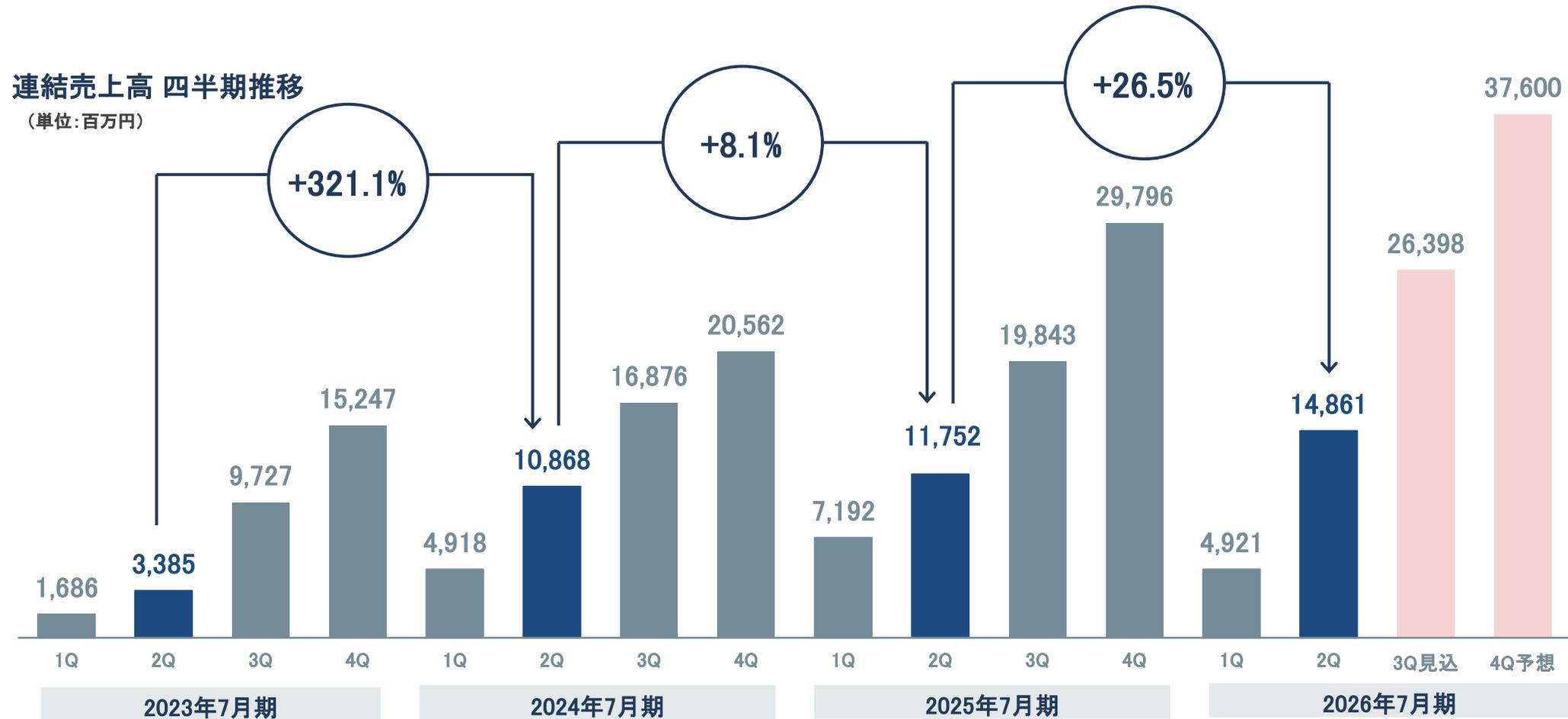
	2026年7月期		
	2Q実績	2Q業績予想	通期業績予想
売上高	14,861	16,100	37,600
営業利益	1,440	1,400	3,800
経常利益	1,202	1,000	3,000
中間純利益	859	600	2,000

2026年7月期第2四半期の業績は以下のとおり。

1Qは開発不動産の販売時期ずれの影響により、前年同期比売上・各段階利益減となるも、2Qは前年同期比売上を上回り、営業利益・経常利益・中間純利益は前年同期及び業績予想を上回る内容。売上高・各段階利益は通期業績予想の達成に向け、問題なく進捗。

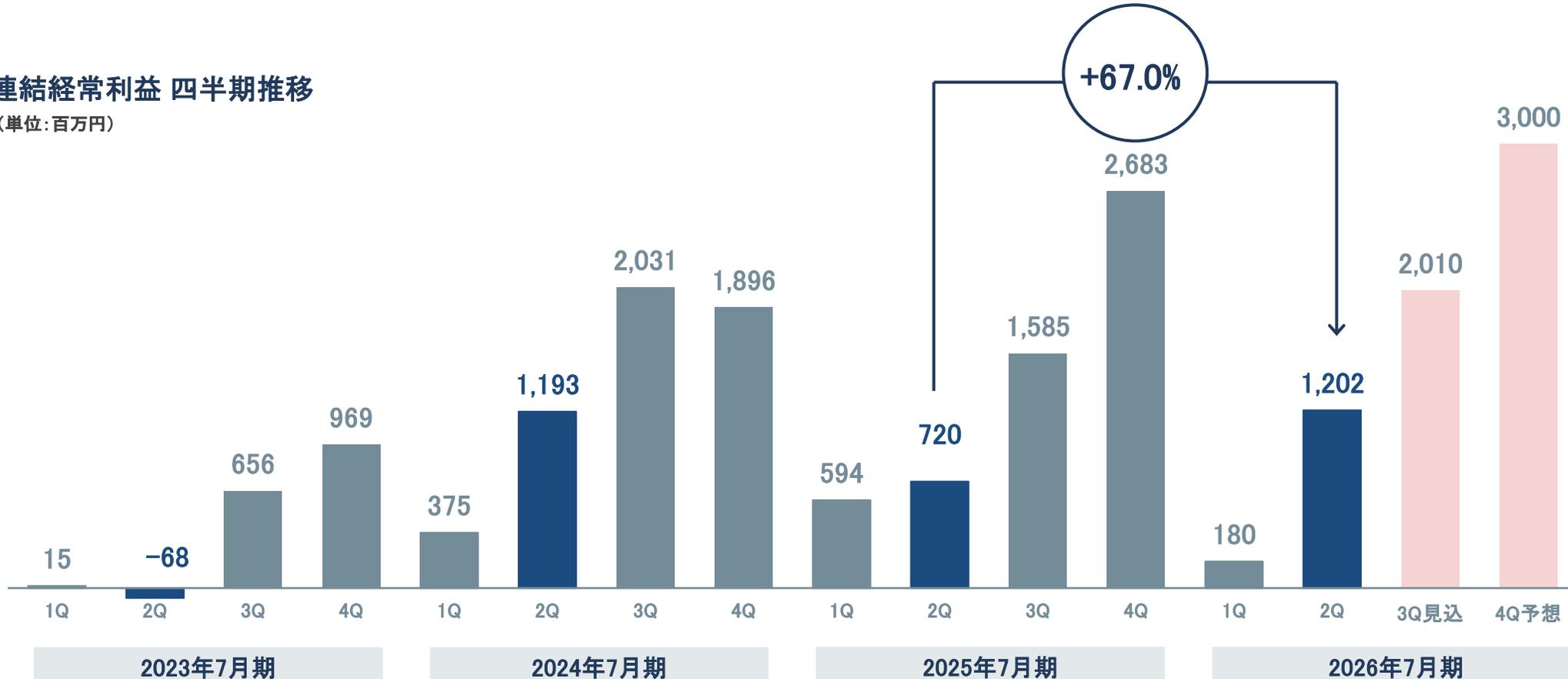
(単位:百万円)	2026年7月期 2Q実績	2026年7月期 2Q業績予想	2026年7月期 2Q業績予想比	2025年7月期 2Q実績	前年同期比
売上高	14,861	16,100	92.3%	11,752	+26.5%
売上総利益	2,740	—	—	2,144	+27.8%
営業利益	1,440	1,400	 <u>102.9%</u>	1,051	+37.0%
経常利益	1,202	1,000	 <u>120.2%</u>	720	+67.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	859	600	 <u>143.2%</u>	460	+86.7%

第2四半期において、売上高14,861百万円(前年同期比26.5%増)を計上。
業績予想を僅かに下回るも、売却契約締結状況から通期業績予想に向けては順調に進捗(進捗率約81%)。

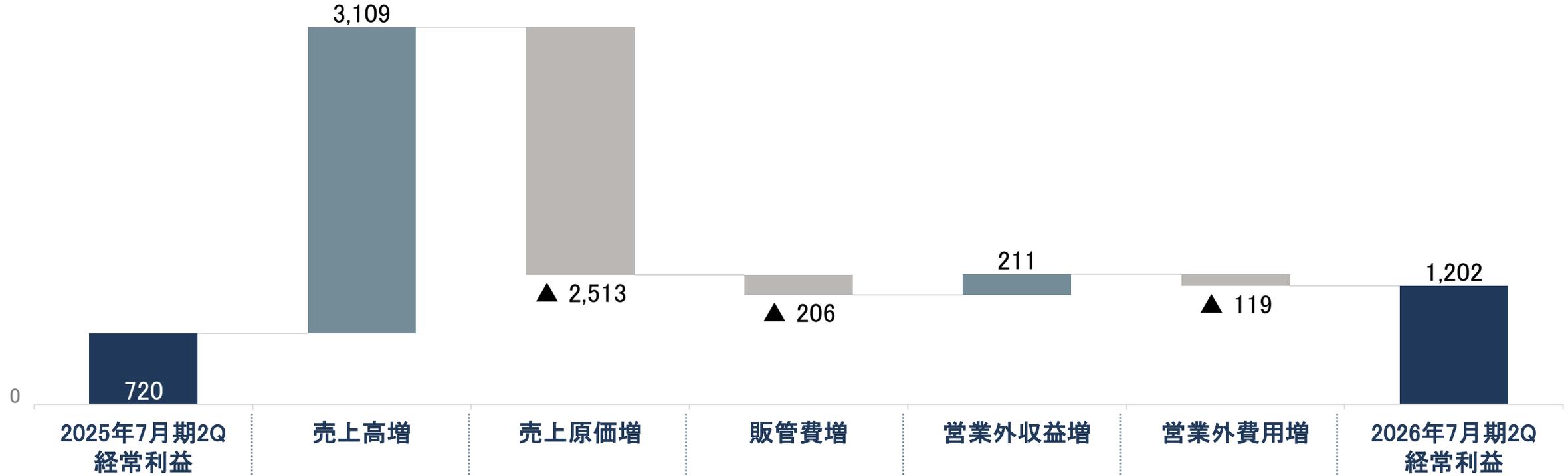


第2四半期において、経常利益1,202百万円(前年同期比67.0%増)を計上。
違約金約2億円の営業外収益により、業績予想を20.2%上回る結果となった。

連結経常利益 四半期推移
(単位:百万円)



(単位:百万円)



開発事業	+2,759	不動産 売上原価	▲2,178	人件費	+33	賠償金	+221	支払利息	▲72
建設事業	+411	建設事業 原価	▲353	経費	▲239	保険金収入	▲11	支払手数料 融資	▲48
賃貸事業	▲36	不動産賃貸 原価	+18						
仲介事業	▲34								
調整額 その他	+9								

新規開発事業用地の取得増加に伴い借入金も17,517百万円に増加(前期比+1,604百万円)。

(単位:百万円)	2025年7月期	2026年7月期 2Q	増減	備考
流動資産	26,639	29,276	+2,637	<ul style="list-style-type: none"> ・現金及び預金9億86百万円の増加 ・新規開発事業用地の取得・建築中の投資用不動産等の棚卸資産13億26百万円の増加 ・売掛金の41百万円の減少 ・その他3億35百万円の増加
固定資産	2,460	2,428	△31	
資産合計	29,099	31,705	+2,606	
流動負債	12,474	12,851	+377	
固定負債	7,098	8,180	+1,082	<ul style="list-style-type: none"> ・支払手形及び買掛金3億36百万円の減少 ・新規開発事業用地等の取得資金の調達に起因した借入金16億4百万円の増加 ・その他1億92百万円の増加
負債合計	19,572	21,032	+1,459	
純資産	9,526	10,673	+1,146	
負債純資産合計	29,099	31,705	+2,606	

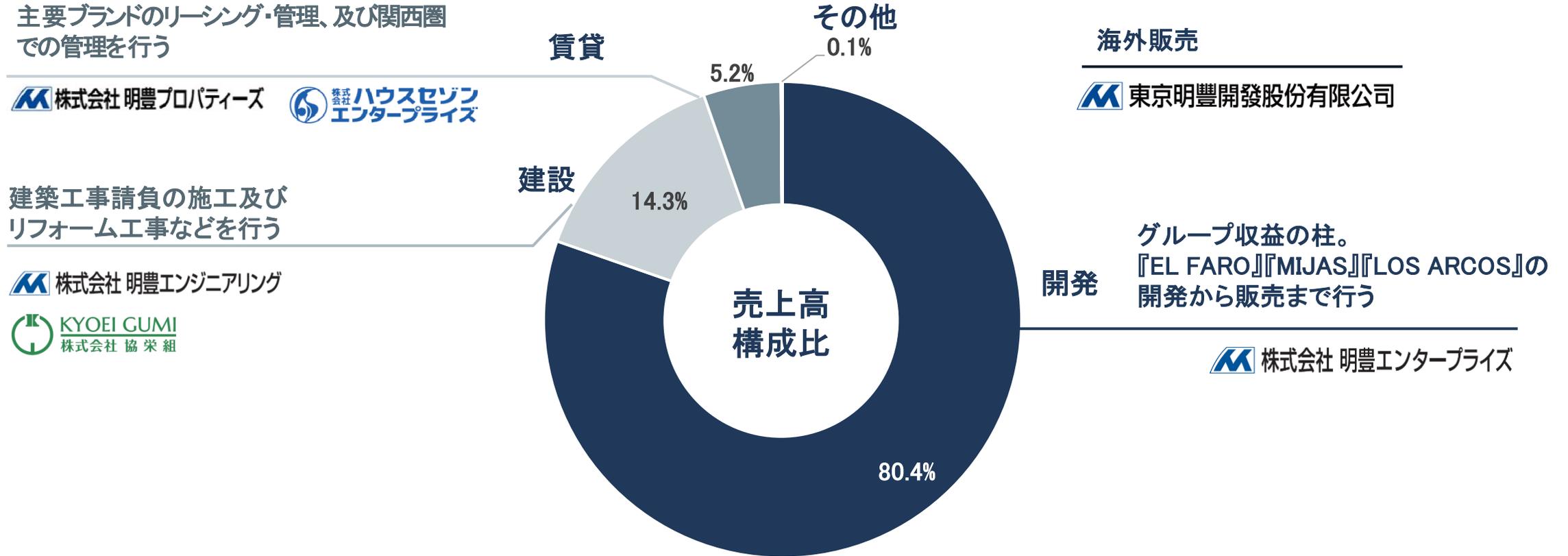
税金等調整前中間純利益増加により営業活動CFは△941百万円(前年同期比+137百万円)。

効率的な資金調達より財務活動CFは1,930百万円(前年同期比+1,941百万円)。

(単位:百万円)	2025年7月期 2Q	2026年7月期 2Q	増減	主な内容
営業活動によるキャッシュフロー	△1,078	△941	+137	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前中間純利益1,203百万円増加 ・棚卸資産が1,326百万円増加 ・法人税等の支払額が525百万円増加
投資活動によるキャッシュフロー	△142	△56	+86	<ul style="list-style-type: none"> ・その他預金の預け入れによる支出により59百万円の減少 ・有形固定資産の取得による支出により9百万円の減少
財務活動によるキャッシュフロー	△10	1,930	+1,941	<ul style="list-style-type: none"> ・物件売却等に伴う長期借入金の返済による支出が4,096百万円増加 ・開発事業用地取得のための資金として長期借入れによる収入5,649百万円増加
現金および現金同等物の中間期末残高	1,720	5,721	+4,001	

1. 2026年7月期第2四半期 決算概要
2. 2026年7月期第2四半期 セグメント別決算概要
3. 今後の見通し
4. 重要トピックス
5. 株主還元
6. Appendix

不動産開発事業を主軸に、建設事業、不動産賃貸事業を展開。
グループ売上の約80%を不動産開発事業で構成。



新築1棟投資用賃貸マンション『EL FARO (エルファール)』の引渡しや、収益用不動産の売却により売上高は前年同期比30.0%増、セグメント利益は前年同期比22.5%増。

(単位:百万円)	2025年7月期 2Q	2026年7月期 2Q	増減
売上高	9,197	11,957	+30.0%
セグメント利益	1,211	1,484	+22.5%

2026年7月期2Q 売却実績

	2025年7月期 2Q	2026年7月期 2Q	増減
EL FARO、MIJAS	15棟	16棟	+1棟
収益用不動産	0棟	1棟	+1棟
開発用事業用地	3物件	2物件	△1物件

「EL FARO 下北沢Ⅳ」



「EL FARO 神宮前Ⅲ」



「EL FARO 旗の台Ⅱ」



東京23区でも特に立地の良い城南・城西エリアを中心に開発用事業用地を取得。

「EL FARO 神宮前Ⅳ」



構造・規模: 鉄筋コンクリート造地下1階・地上3階建て
総戸数: 8戸
竣工: 2026年3月10日

東京メトロ銀座線「外苑前」駅 徒歩10分
都営大江戸線「国立競技場」駅 徒歩10分

「EL FARO 千駄ヶ谷」



構造・規模: 鉄筋コンクリート造地下1階・地上3階建て
総戸数: 12戸
竣工: 2026年3月27日(予定)

東京メトロ副都心線「北参道」駅 徒歩6分
JR山手線/総武線/中央線/都営大江戸線「代々木」駅 徒歩7分
JR総武線/中央線「千駄ヶ谷」駅 徒歩8分
都営大江戸線「国立競技場」駅 徒歩8分

「LOS ARCOS 千駄木」



構造・規模: 鉄筋コンクリート造地上4階建て
総戸数: 29戸
竣工: 2026年3月16日

東京メトロ千代田線「千駄木」駅 徒歩4分

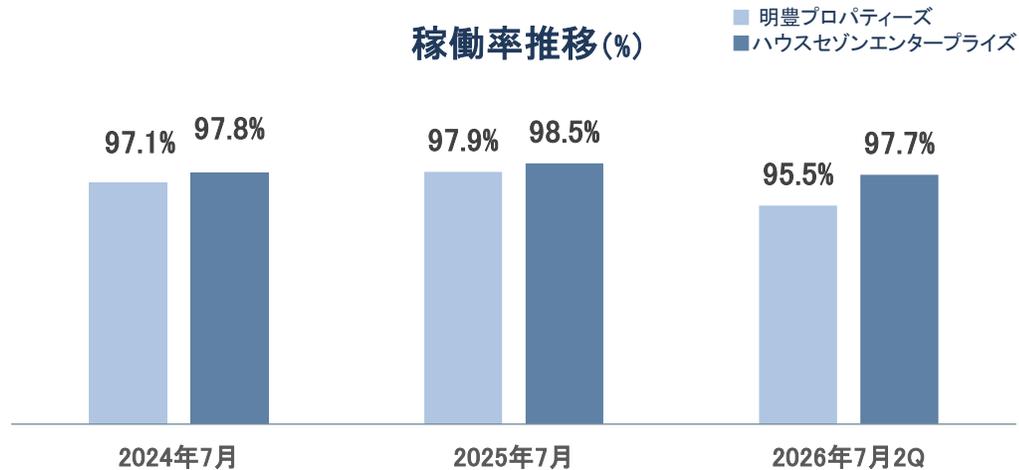
受託する管理物件の稼働率は引き続き高い水準を維持。管理戸数は前期より増加。
 サブリース物件の増加により利益率が改善し、セグメント利益は前年同期比で約8倍に拡大。
 DX を活用した様々な業務効率化も推進し、さらなる業績向上を目指す。

(単位:百万円)	2025年7月期 2Q	2026年7月期 2Q	増減
売上高	816	780	△4.5%
セグメント利益	2	20	+771.7%

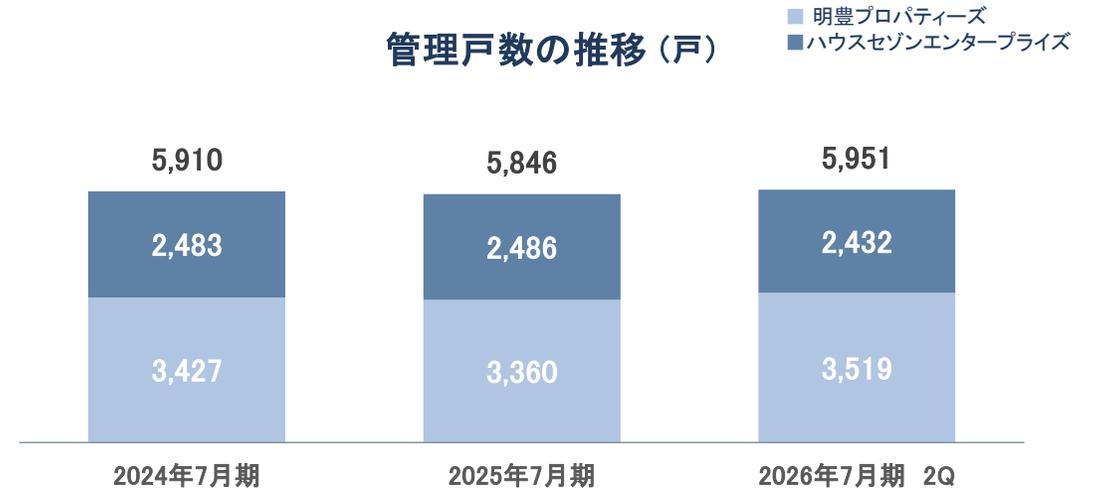
【トピックス】

- スマートロックの導入や設備保証、付帯サービスの充実などでオーナー様、入居様の顧客満足度向上につながり、利益率の高いサブリース物件の増加により、セグメント利益が約8倍に増加した。

稼働率推移 (%)



管理戸数の推移 (戸)



EL FAROシリーズに加え協栄組ではグループ外からも安定的に工事受注、施工実績も好調。竣工棟数は前年同期より1棟増加し、セグメント利益は第1四半期から黒字を維持。

(単位:百万円)	2025年7月期 2Q	2026年7月期 2Q	増減
売上高	1,714	2,126	+24.0%
セグメント利益	△78	12	前期比 +91百万円

【トピックス】

- EL FARO及びMIJASシリーズ9棟の竣工引き渡し、グループ外物件2棟の竣工引き渡しが完了。
- 銀座の商業ビルを別荘の利用目的でフルリノベーション。海外富裕層のニーズに応える取り組みとなった。

「EL FARO 明大前Ⅲ」



明豊エンジニアリング施工

「銀座SLCビル」



協栄組施工

「蒲田PJ」



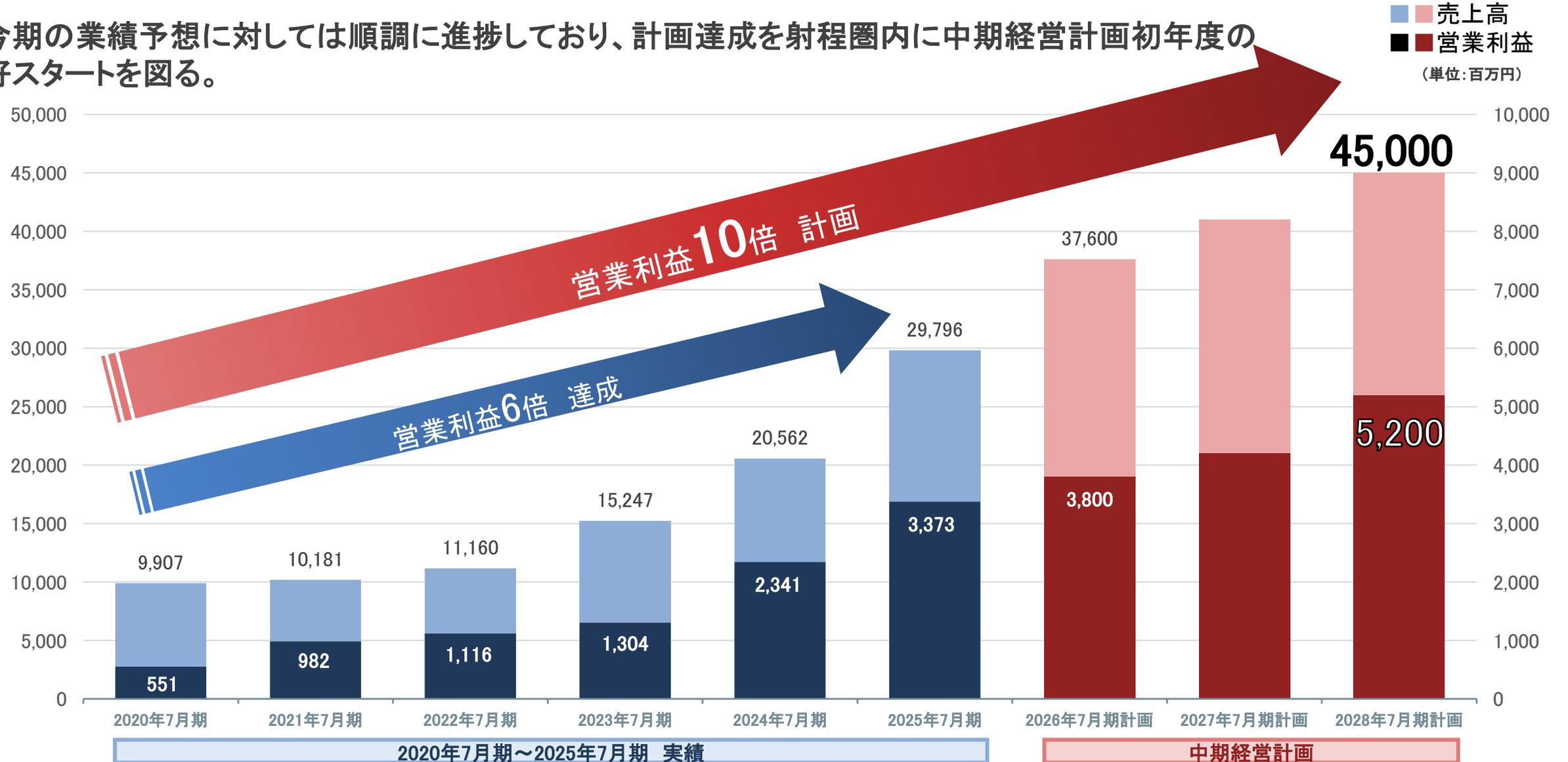
1. 2026年7月期第2四半期 決算概要
2. 2026年7月期第2四半期 セグメント別決算概要
3. 今後の見通し
4. 重要トピックス
5. 株主還元
6. Appendix

2026年7月期は、新築1棟投資用物件37棟(エルファール・ミハス・ロスアルコス)の引渡しにより、売上高26.2%増(前年同期比)・営業利益12.6%増(前年同期比)の達成とさらなる上積みを目指してまいります。

(単位:百万円)	2025年7月期 実績	2026年7月期 予想	増減率
売上高	29,796	37,600	+26.2%
営業利益	3,373	3,800	+12.6%
経常利益	2,683	3,000	+11.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,893	2,000	+5.6%

中期経営計画では、設立60周年に向けて2020年7月期から営業利益10倍を計画。

今期の業績予想に対しては順調に進捗しており、計画達成を射程圏内に中期経営計画初年度の好スタートを図る。

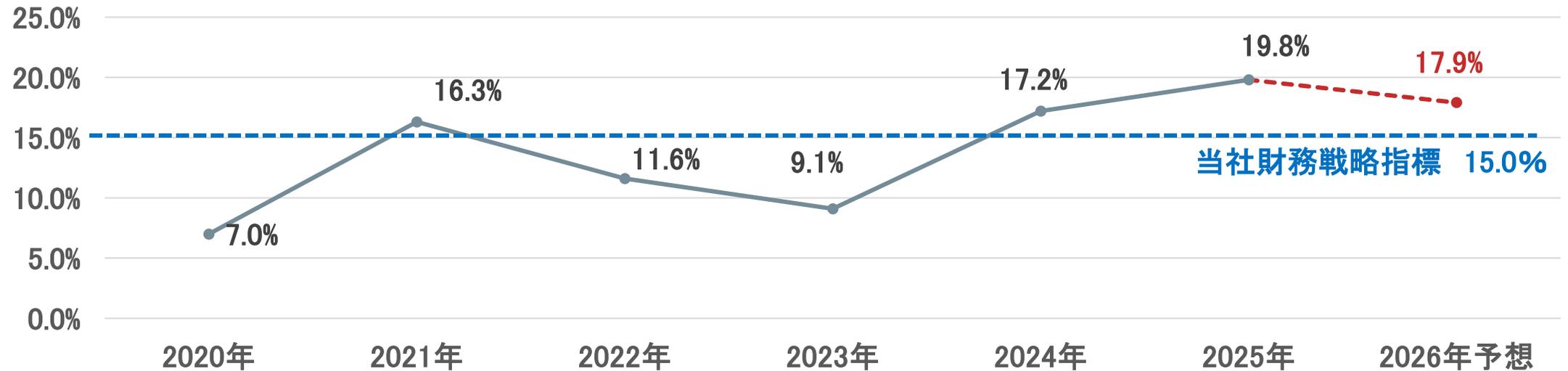


財務戦略のひとつとして掲げるROE15%以上の継続実現に向け、資本効率の向上を図る。

➤ 高回転及びレバレッジ経営を継続

ROE19.8% > 当社財務戦略指標15.0%
2025年7月時点

ROEの推移



1. 2026年7月期第2四半期 決算概要
2. 2026年7月期第2四半期 セグメント別決算概要
3. 今後の見通し
4. 重要トピックス
5. 株主還元
6. Appendix

25年9月24日 明豊エンタープライズ、オーエフの新サービス「ヒカリヲハイブリッド+(プラス)」を共同住宅に国内初導入

25年9月24日 日経CNBC「～攻めのIR～ Market Breakthrough」出演のお知らせ

25年10月2日 ハウスセゾンエンタープライズ、京都中央信用金庫保証付の「SDGs 私募債」を発行

25年10月30日 明豊エンジニアリング、銀座で商業ビルを都市型高級レジデンスへフルリノベーション

25年11月17日 明豊エンタープライズグループの年間優秀社員を表彰する「明豊AWARD 2025」二度目の開催

26年2月26日 明豊エンタープライズ、千葉銀行とコミットメントライン契約を締結

26年2月27日 明豊プロパティーズ、管理物件にビットキー社のスマートロックを導入し 物理鍵のない次世代の賃貸管理を実現

第2四半期累計の販売件数は新築1棟投資用賃貸マンションシリーズを16棟、中古収益用不動産を1棟、開発事業用地2物件の売却。開発用地取得は18件。

・販売物件

「EL FARO 大岡山Ⅲ」



構造・規模:鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建
総戸数:20戸
竣工:2025年11月

東急大井町線 大岡山駅 徒歩8分

「EL FARO明大前」



構造・規模:鉄筋コンクリート造 地上4階建
総戸数:19戸
竣工:2026年1月

京王線 明大前駅 徒歩5分
京王井の頭線 東松原駅 徒歩11分

・2Q取得開発用地

開発予定物件 (仮称)	所在地	敷地面積
エルファール世田谷松原	世田谷区	205.84㎡
エルファール下北沢Ⅵ	世田谷区	215.12㎡
エルファール沼袋	中野区	132.95㎡
エルファール洗足Ⅱ	大田区	210.74㎡
エルファール洗足	大田区	276.72㎡
エルファール中野新井薬師Ⅴ	中野区	132.17㎡
エルファール三軒茶屋Ⅶ	世田谷区	314.90㎡
エルファール学芸大学Ⅱ	目黒区	246.92㎡
エルファール学芸大学Ⅲ	目黒区	158.34㎡
エルファール沼袋Ⅱ	中野区	354.41㎡

※2026年1月31日 現在

新築 1 棟投資用賃貸マンション 新ブランド「LOS ARCOS」1棟目が竣工



■「LOS ARCOS 千駄木」物件概要
 名称: LOS ARCOS 千駄木
 所在: 文京区千駄木 2-17-6
 交通: 千代田線「千駄木」駅 徒歩 4 分
 延床面積: 1104.07 m²
 階数: 地上 4 階
 総戸数: 29 戸
 間取り: 1DK21 戸、1LDK1 戸、2DK7 戸
 竣工日: 2026 年 3 月 16 日

「EL FARO(エルファーロ)」「MIJAS(ミハス)」に続き、新シリーズである「LOS ARCOS(ロスアルコス)」の第 1 弾物件「LOS ARCOS 千駄木」が3月16日に竣工。売却契約も完了している。

コンセプト

- ・ 「LOS ARCOS(ロスアルコス)」はスペイン語で「アーチ」を意味する。アーチの曲線の美しさから、「つながり」や「架け橋」を象徴。
- ・ 入居者と空間を心地よくつなぐ“橋渡し”となる住環境を追求。
- ・ これまでの当社シリーズ(EL FARO・MIJAS)が築いた実績を礎に、さらなる高付加価値化と物件規模の拡大を図った新築1棟投資用マンションの旗艦モデルとして期待される。

特徴

- ・ エレベーター・バルコニー完備
- ・ 4階以上のRC造マンション
- ・ デザイン性のある住空間

金利動向

日本国内では政策金利が0.75%、10年国債利回り2%超と、長年の低水準から上昇傾向にあり、今後も利上げの可能性が指摘されている。

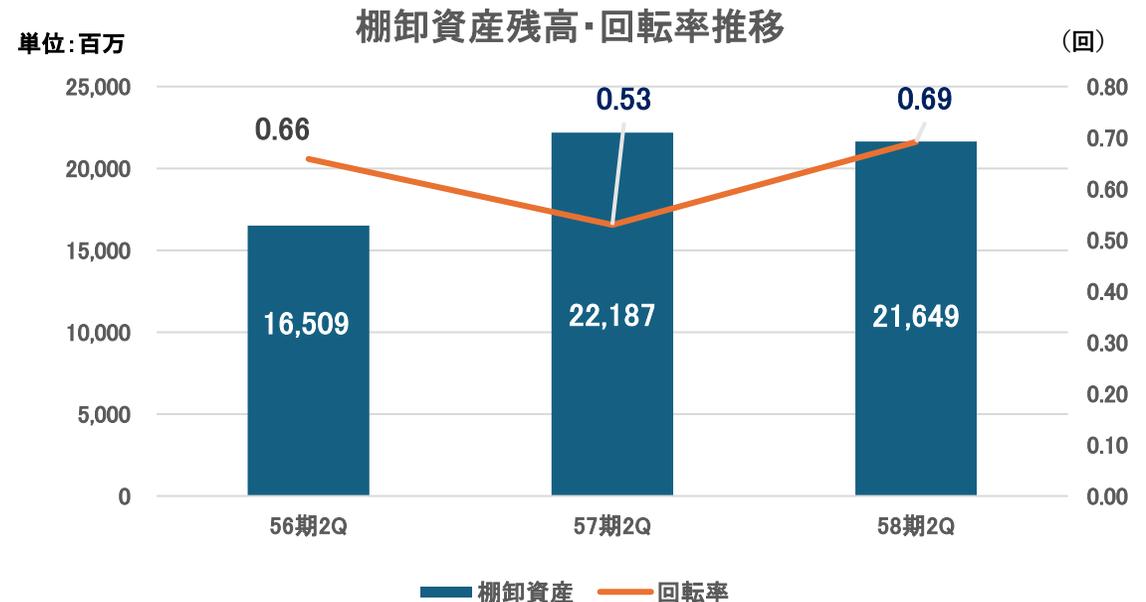
当社方針

城南・城西地区中心の物件展開で需要は堅調。また、現在の不動産市場は、物価上昇に伴い賃料や物件価格も増加しており、金利上昇の影響は少ないものと認識。

また、棚卸回転率は約0.7回となり、昨年2Q(約0.5回)より回転期間を短縮。引き続き回転率、CCCを意識したプロジェクト推進により、リスクへの機動的対応を可能にする。

リスク

- 金利上昇に伴い、借入金利息負担が増加
- 経済・金融市場の急激な変動に伴うキャッシュフローへの影響



※棚卸回転率=第2四半期累計売上高÷棚卸資産
各期2Q売上高により比較

1. 2026年7月期第2四半期 決算概要
2. 2026年7月期第2四半期 セグメント別決算概要
3. 今後の見通し
4. 重要トピックス
5. 株主還元
6. Appendix

2025年8月26日に、累進配当の導入を発表。

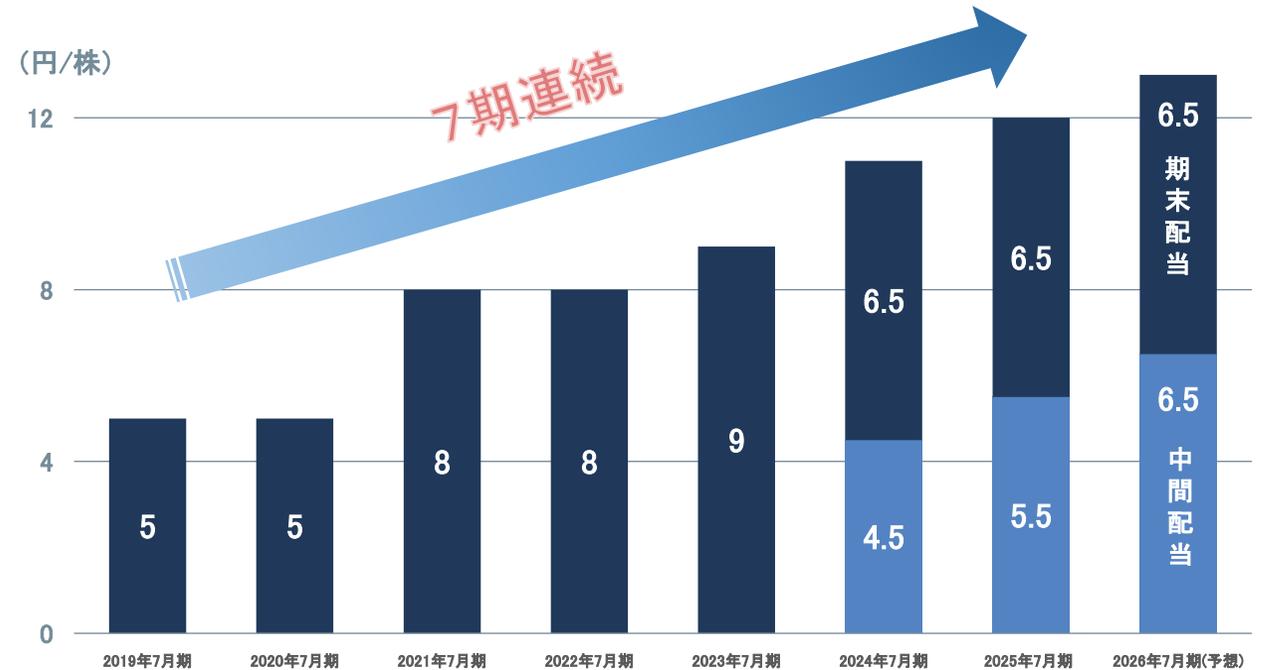
2026年7月期の年間配当は、7期連続累進配当となる13円/株を予想。

配当方針

企業価値の向上と株主の皆さまに対する利益還元を経営上の最重要課題と位置づけ。

配当政策は、株主の皆さまに対する利益還元と継続的な成長に必要な内部留保の充実を考慮しつつ、累進配当を継続することを基本方針とする。

配当金額の推移



2025年6月より株主優待制度を導入。

2026年1月中旬に2025年10月末基準日とする第1回株主優待を進呈。

安定した配当に加えて、株主優待制度の継続により今後も株主還元策の充実を図ってまいります。

対 象	基準日	優待内容	進呈日
基準日において1,000株以上 保有の株主様	10月末日	デジタルギフト8,000円分	基準日より約3か月後
	4月末日	デジタルギフト8,000円分	基準日より約3か月後

対象となるデジタルギフトの種類

■ 決済系

- PayPayマネーライト、QUOカードPay、au PAYギフトカード、dポイント、Visa eギフトvanilla

■ EC・ショッピング系

- Amazonギフトカード、Google Playギフトコード、PlayStation®Storeチケット、DMMプリペイドカード、図書カードNEXT

■ その他

- Uber Taxi / Uber Eats ギフトカード、すかいらーくご優待券 他

配当の基準日は7月末・1月末、株主優待の基準日は10月末・4月末で構成しており、年間4回いずれかの株主還元をお届けします。

《株主還元スケジュール》

	2026年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
配当	中間配当 基準日		中間 配当日				期末配当 基準日			期末 配当日		
株主優待	優待 受取日			優待 基準日 (3Q)			優待 受取日			優待 基準日 (1Q)		



1. 2026年7月期第2四半期 決算概要
2. 2026年7月期第2四半期 セグメント別決算概要
3. 今後の見通し
4. 重要トピックス
5. 株主還元
6. Appendix

「物造りにこだわったデベロッパー」

会社名	株式会社明豊エンタープライズ
代表者	代表取締役会長兼社長 矢吹 満
設立	1968年9月9日
所在地	東京本社 東京都目黒区目黒2-10-11 目黒山手プレイス4F
資本金	614,403,750円(2025年7月末時点)
事業内容	不動産開発・販売事業／不動産賃貸事業／不動産仲介事業
従業員数	151名(2025年7月末時点 連結)

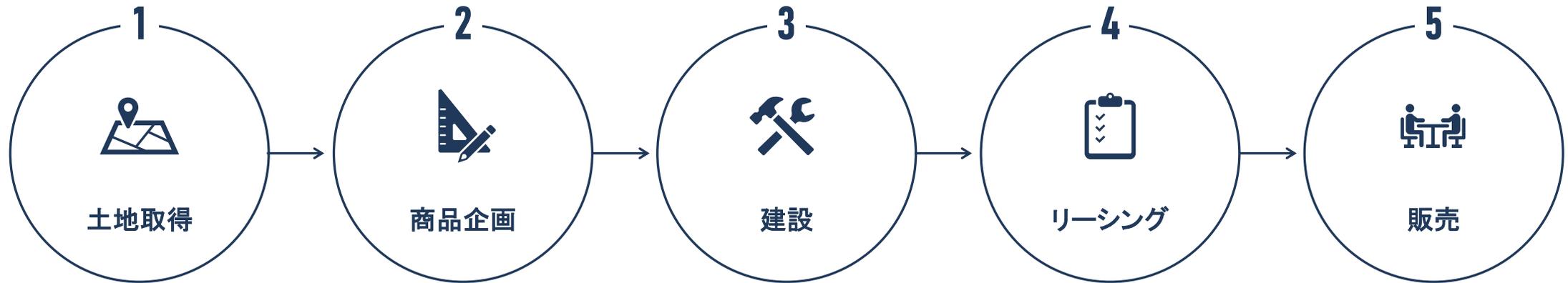


2003.01	一級建築士事務所登録	2007.07	学校法人早稲田大学との産学協同研究の開始
2003.02	「サンフル高井戸プロセンチュリー」において、「高強度コンクリート」・水回りの設備変更を容易にする「二重床」を採用し、「100年住宅」を目指した当社初の外断熱工法賃貸マンションに進出	2009.05	株式会社明豊コーポレーションを吸収合併
2003.03	賃貸代理・仲介及びサブリースを主な業務とする関連会社の株式会社東京テナントセンター(現株式会社明豊プロパティーズ)を100%出資の子会社とする	2012.09	本社を東京都目黒区目黒二丁目10番11号に移転
2003.07	株式会社メイホーリアルエステートと株式会社東京テナントセンター(現株式会社明豊プロパティーズ)を合併し、賃貸代理・仲介及びサブリースを主な業務とする100%出資子会社の株式会社東京テナントセンターとする	2014.02	賃貸アパートメントブランド「MIJAS(ミハス)」第1号物件「MIJAS池上」竣工
2004.06	日本証券業協会に株式を店頭登録	2015.01	関西地区にて賃貸代理・仲介を主な業務とする、株式会社ハウスセゾンエンタープライズに出資し、子会社化
2004.12	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所※に株式を上場 ※市場再編に伴い現在は東証スタンダード市場	2017.08	不動産特定共同事業許可を取得
2005.12	外断熱分譲マンション第1号「サンフル池上シェルゼ」の竣工	2018.08	賃貸アパートメントブランド「MIJAS中野」全国住宅産業協会 第8回優良事業賞【企画・開発部門】受賞
2006.06	不動産分譲事業のうち共同分譲事業および不動産流動化を目的とした開発事業と不動産仲介事業を担う100%出資子会社として株式会社明豊コーポレーションを設立	2019.06	新築1棟投資用賃貸住宅シリーズ「EL FARO(エルファーロ)」第1号物件「EL FARO練馬」竣工
2006.07	業務拡大のため、本社を東京都渋谷区渋谷二丁目12番19号に移転	2020.09	賃貸アパートメントブランド「MIJAS(ミハス)」第100号物件「ミハス池袋」竣工
2006.10	「シェルゼ木場公園」において東京都環境局マンション環境性能表示オール三ツ星(満点)取得	2022.08	総合建設会社である株式会社協栄組を子会社とする
		2023.02	明豊エンジニアリングに明豊エンタープライズと明豊プロパティーズの建築に係る経営資源を一本化
		2024.12	台湾現地法人「東京明豊開発股份有限公司」を設立 2025.2より営業開始
		2026.03	新築1棟投資用賃貸住宅シリーズ「LOS ARCOS(ロスアルコス)」第1号物件「LOS ARCOS千駄木」竣工

差別化された付加価値を生み出す不動産開発事業のビジネス構造

安定的な供給戸数を確保できるワケとは

EL FARO MIJAS LOS ARCOS



過去200棟以上の土地購入実績から業界内で「一棟収益レジデンスといえば明豊」と認知・評価され、マンション・アパート用地の情報をより早く入手
若手仕入れ担当者の熱意ある活動により情報量増加

一般的に敬遠されることが多い用地※を適正価格で仕入れ、地形の個性を活かした商品企画をすることで最大限、資産価値・収益性を高めて販売
※袋小路用地、不整形地、路地状敷地など

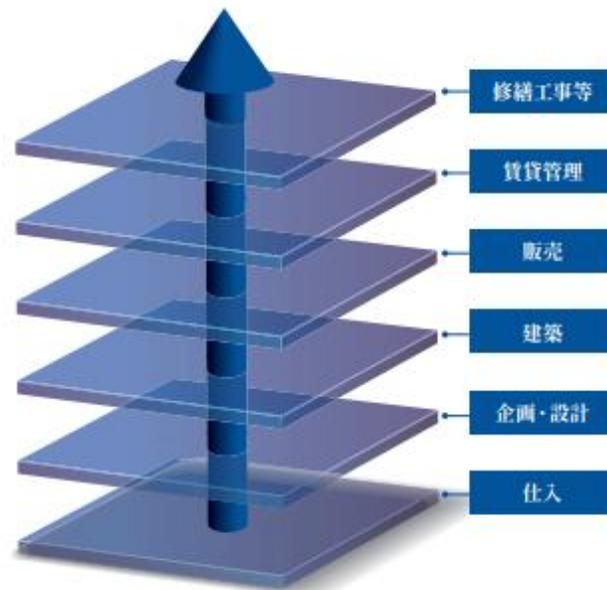
グループ内に2つの施工会社を持ち、施工計画を立案、前面道路が細く、工事車両が進入できないような土地でも商品化可能

東京23区城南・城西エリア 駅徒歩10分以内の賃貸需要の見込める好立地を仕入れることで、竣工後、平均3.4ヶ月で満室稼働に

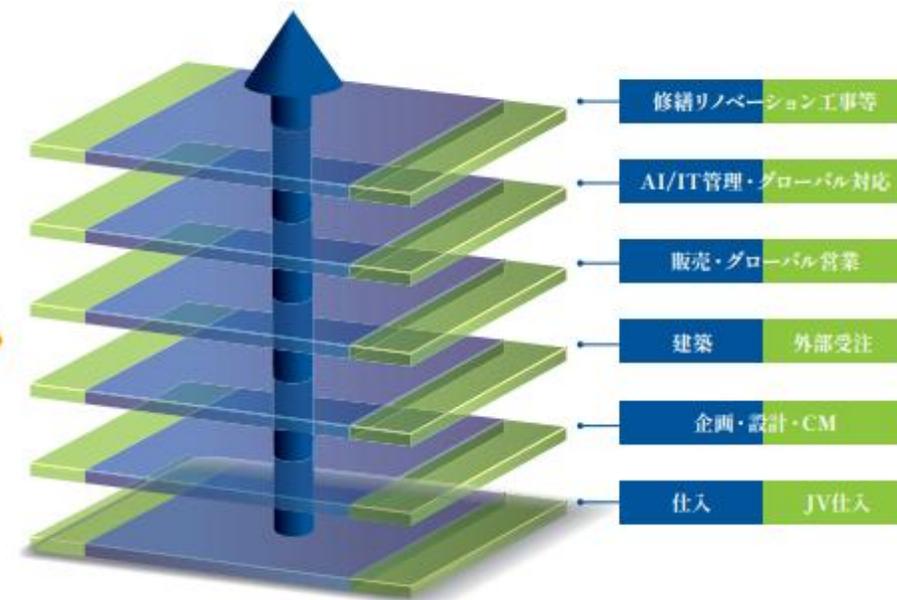
開発用地購入から売却まで、約12~18ヶ月という短いサイクル※で資金回収が可能
※一般的な分譲マンション開発の場合、資金回収まで3年程度要する

土地仕入から建設、販売、管理、修繕までを自社グループでワンストップ対応、高品質と高収益を両立する垂直統合戦略に、水平展開を取り入れることにより、成長機会を拡大する。

垂直統合戦略



垂直統合・水平展開戦略



株式会社 明豊プロパティーズ   **ハウスセゾン**
エンタープライズ

株式会社 明豊エンタープライズ

 東京明豊開発股份有限公司

株式会社 明豊エンジニアリング  **KYOEI GUMI**
株式会社 協栄組

株式会社 明豊エンタープライズ

東京23区内でも特に立地の良い城南・城西地区を中心に物件を提供。

地盤が強く、高い稼働率と収益の実現が見込める不動産投資戦略をプランニング。



東京23区中心、
駅10分以内の立地



ターミナル駅
からアクセス
良好な利便性

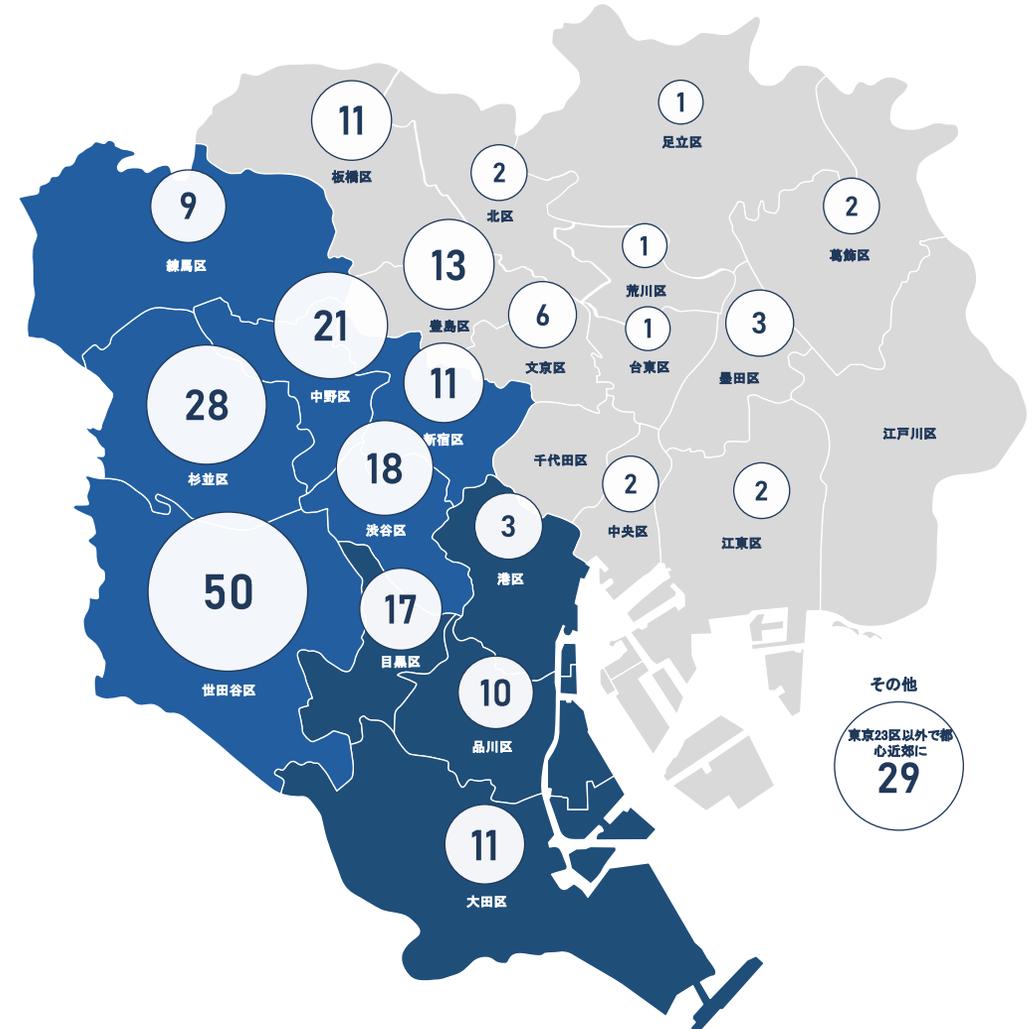


公園など
緑が豊かで、
静かな生活環境



EL FARO 130棟 MIJAS 121棟

※2025年12月末時点で竣工、着工している物件棟数



グループ一貫体制により、安心できるアパートメント・マンション経営をワンストップでフルサポート

THE QUALITY OF MEIHO GROUP



POINT. 1 一級建築士・一級建築施工管理技士による施工管理

建物は、独自の品質管理基準・施工管理マニュアルに基づき社内一級建築士・一級建築施工管理技士が施工管理。

POINT. 2 建物アフターサービス

新築建物のため、「アフターサービス保証」があり、2年間の定期点検を実施。オーナー様に代わり、明豊プロパティーズが不具合箇所を指摘、改修後報告。

POINT. 3 瑕疵担保責任保険の加入

構造耐力上主要な部分(基礎・土台・床・屋根・柱・壁など)、雨水の侵入を防止する部分(屋根・外壁など)の住宅瑕疵担保責任保険に加入しており、10年保証で安心を提供。

商品説明



スペイン語で「灯台」を意味する、石造りの頑丈さ、
時を経ても美しいフォルムが特徴の新築1棟投資用賃貸マンション

EL FARO -エルファーロ-

EL FAROの特徴

- ✓ 好立地なエリアの物件の供給、賃貸管理まで
一気通貫してご提案が可能なRC造の賃貸住宅

構 造	RC造等
立 地	東京23区を中心に最寄り駅徒歩10分以内
価 格	約5億円～15億円

- ELV等の設備をなくし、
管理コストを低減
- 内部仕様は分譲マンション同等、オートロック付
- デザインテイストは、
スペイン都市部のマンション

MIJAS -ミハス-

太陽の国スペインのアンダルシア地方にある白い街、
“ミハス”がデザインコンセプトの新築1棟投資用賃貸アパート

MIJASの外観特徴

- ✓ 旗竿地の形状を利用した特別感のあるアプローチ
- ✓ 白壁にアイアン格子とスペインタイルで
他物件と差別化
- ✓ 長屋構造のため共用の外階段がない



構 造	木造・鉄骨造等、低層中心
立 地	東京23区を中心に最寄り駅徒歩10分以内
価 格	1億円～約10億円前後

- 鉄骨厚4.1mm
- JFEフレームキット工法
→ 業界初の30年保証!



スペイン語で“アーチ”を意味し、随所にアーチを取り入れた「暮らしの橋渡し」となる新築1棟投資用賃貸マンション

LOS **ARCOS** -ロソアルコス-

LOS ARCOSの外観特徴

- ✓ スペイン建築に見られるアーチ型デザインを外観やエントランスに取り入れた象徴的な意匠
- ✓ ホワイトやベージュ、グレーを基調としたが壁により、上質で落ち着いた感のある外観を形成
- ✓ ウッドやブリック、テラコッタタイルなどの素材を用いたエントランスで温もりある空間を演出

構	造	RC造・中層/高付加価値モデル
立	地	東京23区を中心に最寄り駅徒歩10分以内
価	格	10億円以上

- エレベーターやバルコニーを完備し、居住性能と資産価値を形成
- 内部仕様は分譲マンション同等、オートロック付
- デザインはスペインの近代建築をモチーフ
- 投資効率を追求した設計思想×市場が求める居住水準の調和地点を具現化した最高位のプロダクトライン

本資料に関する注意事項

本資料に掲載されている情報には、業績予測・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。今後発生する新たな事象及び状況の変動があった場合にも、当社は、本資料の記述を更新又は改定する予定はありません。本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

 **Meiho Enterprise Co.,Ltd.**